



大竹綾子さん

## 地域のできごと まちのほっとフォト

📷 は、市民リポーターが取材・撮影しました  
(14人が登録しています)

おぐに森林公園で行った「塩麴・醤油麴作り」。参加者は、計量した調味料を麴に加えて、こぼれないように混ぜ込みます。これから毎日混ぜると、2週間後には「万能調味料」が出来上がり。「どんな料理に使うか、考えるのも楽しいね」(2月11日) 📷



## 泣く子も笑う!? 小鬼に変身

子育ての駅なかのしま「なかのひろば」で、子どもたちがかわい「小鬼」に変身。手作りしたかんむりや鬼のパンツを身に付けて、ダンスやクイズを楽しみました。  
(2月3日) 📷土田千栄美さん

## 慎重に 雪上ターンは



山古志小・中学校でPTA雪上レクリエーション大会を開催しました。人を乗せたスノーチューブを引っ張るレースでは、勢い余ってスリップする場面も。ドキドキの展開に、参加者は大盛り上がりでした。(1月25日)

## 狙いを定めて...初期消火!



文化財防火デーに合わせ、越路地域の国重要文化財「長谷川邸」で、消防訓練を行いました。消火体験をした子どもは、消火器の勢いが思っていたよりも強くて少しびびったり。緊張しながらもしっかり的に当てていました。  
(1月26日)

## 福は誰の手に?



📷 榎橋光也さん  
栃尾地域の榎堀守神社で裸押合大祭が行われました。天窓からまかれる福札を目掛けて、下帯一枚の「男衆」が「サンヨ(撒与)！サンヨ！」の掛け声とともに激しいぶつかり合い。境内は熱気と興奮の渦に包まれました。(2月8日)



## 市町村研究会

# 原子力安全対策の取り組み 住民への説明を 県に強く要望

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会(代表幹事・長岡市長)」は2月10日、実務担当者会議を開催しました。  
県から、技術委員会で確認した柏崎刈羽原発の安全対策の説明を受けた各市町村。事業者の運転適格性などの項目で「原子力規制委員会の判断を否定するものではない」とした結論に対し「分りづらく、どう受け止めればよいか」「適格性があるかどうかという県民の問いにどう説明するのか」と質問しました。県は「技術委員会の結論は、それ

## 冬季の原子力災害を 想定した訓練を初めて実施

県と連携して行った原子力防災訓練に、和島地域の住民が参加しました。屋内への退避の後、地区の代表者など約50人がバスや自家用車で新潟市に一時移転し、汚染状況の検査などを実施。避難の一連の流れを確認しました。訓練結果を活かし、原子力防災体制の強化に取り組んでいきます。



▶住民が放射性物質による汚染状況の検査を受ける訓練  
(1月25日)

以上でもそれ以下でもない」とし、「適格性があるかどうかは県の立場では言い切れない。原子力規制委員会の継続的な監視を、県もしっかり注視していく」と回答しました。これに対し各市町村は、県の技術委員会の確認結果や柏崎刈羽原発における事故時の被ばく線量シミュレーション結果を、住民に分かりやすく説明するよう求めました。  
今後も市民の安全・安心のため、原子力安全対策にしっかりと取り組みます。  
📞 原子力安全対策室  
39・2305

## 無人除雪の試作機、開発が進む



除雪作業中の事故防止や担い手不足の解消のため、開発が進む無人除雪機。屋根用と玄関先用の2種類の試作機を披露しました。

試作機はそれぞれ、ものづくりに長けた長岡鉄工業青年研究会、ながおかメイカーズ・クラブが市の補助を受けて開発。機械の操作にはコントローラーを使用するほか、玄関先用は自動運転にも対応しています。今後はさらに検証を重ね、小型・軽量化や除雪能力の向上など改良に取り組み、実用化を目指します。(2月12日)

## 安全確保へ、下水道管を緊急点検



1月28日に埼玉県八潮市で発生した、下水道管の破損が原因とみられる道路陥没事故を受け、下水道管の点検を行いました。破損した場合に被害が大きくなる

恐れがある口径1.5m以上の汚水管などを対象に、周辺の路面状況と、マンホール内で管や下水の流れに異常がないかを確認。点検した下水道管に異常はありませんでした。  
今後も市民生活の安全を守るため、計画的に清掃や調査、修繕などを行い、下水道施設の適切な維持管理に取り組んでいきます。(2月4日~14日)

## Instagramから #ほっとフォト長岡

市公式Instagramをフォロー&タグ付けして投稿された写真を紹介します。  
与板地域・冬の上町商店街アーケード  
(投稿者・iwa\_color\_さん)

## 投稿募集中

詳しくは  
市公式  
Instagramで

